

# 琉球大学

## 留学生センター・ニュース

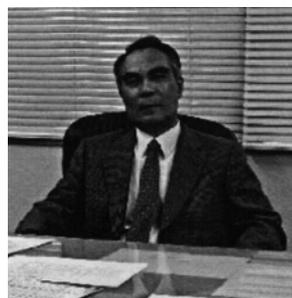
2003年3月 第2号

### 新センター長自己紹介

#### 留学生との関わり

留学生センター長 比嘉 辰雄

2002年4月に留学生センター長に就任してからすでに1年が過ぎようとしている。その間、センターの年間行事などいろいろなことがあったが、私の都合で出席できなかったのもいくつかあり、センターの先生方、留学生課の職員や留学生の皆さんにご迷惑をおかけしたことを先ずお詫びしたい。これまで私は大学の行政には関心がなかったため、留学生センターの大学の中での位置付けや役割、



学生数や出身国、プログラムの種類などについて全く無知であった。皆さんにいろいろとご教示いただいて、最近どうか全体像が掴めてきたところである。

私の研究室で初めて留学生を受け入れたのは、理学研究科に海洋学特別コースができた1989年であった。このコースは10月入学で、英語で授業を行い、留学生が日本語を学ぶための期間を省いて2年間で修士課程を修了させるという、日本政府の奨学金による制度で、今年15年目を迎える。最初の年に私たちの研究室にやってきたのは、インドからの留学生であった。以来、アジアを中心に10数カ国からの30名近い留学生と研究上の関わりをもった。最初のうちは、かつて日本がアジアの国々に迷惑をかけた反省に立って、留学生にはできるだけ「醜い日本人」の印象を与えないよう、いくぶん贖罪の気持ちをもって接するように心がけた。しかし、中にはこちらのそういう態度を利用しようとする者もいて、国際交流の難しさを痛感させられたこともあった。私自身アメリカで留学生生活をした経験から、留学生にはできるだけ親切に対応するようにはしている。もちろん叱るべき時には叱り、是々非々の態度で、「驕らず、甘やかさず、差別せず」をモットーに。

本学には、現在45カ国から263人の留学生が学んでいる。多くの学生と直接接する機会は少ないが、センターの先生方の話やアンケート結果から判断すると、留学生の多くは本学での勉学に概ね満足しているようである。昨年短プロを修了して帰国した何人かの留学生から、担当の先生方にまた沖縄に行きたいとの便りがきているという。私にも沖縄をなつかしむ声が届いている。うれしいことである。全ての学生に満足してもらうことはきわめて困難であるが、1人でも多くの留学生に、琉球大学で学んでよかったと思えるように、生涯にわたって良き思い出となり、同じ地球村の住民としての共感を得て帰国できるように、これからも留学生センターの全ての関係職員の皆さんと共になおいっそう努力していかねばと思っております。

## 新メンバー自己紹介（留学生センター）

留学生センター 副島 健作

今年度より琉球大学留学生センターに赴任いたしました副島健作と申します。

赴任する前はサハリンのユジノ-サハリンスク経済法律情報大学で日本語を教えておりました。今後はこのロシアでの経験を生かして、大いにがんばっていきたいと思います。海外での経験は日本で生活しつつ、日本語を学んでいる留学生の立場に通じるものが少なからずあると思われまので、常に留学生の立場にたって、指導に当たることができればと考えております。

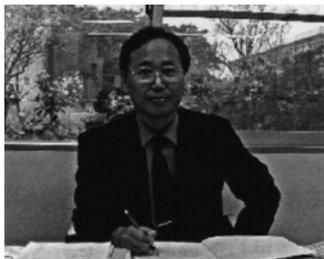


留学生センターは異質な社会に暮らし、異なる文化に生きてきた人々の集う場でもあります。そのような人々の背景にある異文化を共感的に理解し、違うからこそお互いを豊かにしあうような関係を作り上げることで、学習者、教師の双方が人間的に成長していける場ともいえるでしょう。教室内外の活動を通して、人間性を高める道を模索し、自分自身に磨きをかけ、琉球大学留学生センターのさらなる発展に少しでも貢献できるよう、努力する所存です。

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 新メンバー自己紹介（留学生課）

留学生課長 村瀬 隆彦



本年4月から、留学生課長として勤務している村瀬 隆彦と申します。先日、あるところで、「外国に友達がありますか。」という質問を受け、胸を張って「韓国に友人がいます。」と答えることができました。この友人は、韓国のプサン在住でスポーツ（サッカー）関係の仕事をしている李 昌燁君と言う青年です。

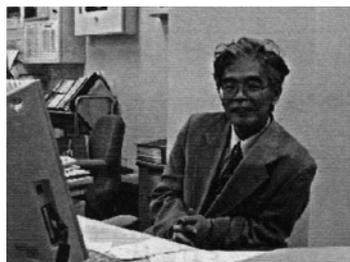
私が数年前、鹿屋体育大学で少しだけ留学生関係の業務に携わったとき、大学院体育学研究科（修士課程）に入学してきて、それまで「国際交流」とか「留学生」に無知であった私をその世界に目覚めさせてくれた人です。今年の1月、厳寒のソウルでビールを飲み交わしながら、ワールドカップのことを熱く語ってくれたことを昨日のように思い出します。韓国のベスト4進出をさぞかし喜んでいることでしょう。

留学生交流業務というものは、詰まるところ、人と人との豊かな交友を進めることだと思います。現場の仕事では、思いもかけぬトラブルが続出して途方に暮れることが多々あります。しかし、トラブルを抜け出してみると、そこにはいろいろな国の人の笑顔があふれ、素晴らしい友情が芽生えることもあります。李君との出会いのような新しいふれあいを楽しみにしながら、仕事を進めていきたいと考えています。

さて、最後に少しだけ自己紹介をしておきます。出身地は名古屋市で、これまで京都、大阪、滋賀、京

都、鹿児島、千葉、鹿児島と転々と流浪してきて、この4月に沖縄に（単身）赴任してまいりました。趣味はテニスと競馬ですが、どちらも沖縄では楽しむことができず、少々欲求不満状態です。そのかわり、三線（沖縄の三味線）にチャレンジしようかと考えています。どうかよろしく願いいたします。

#### 短期留学係長 比嘉 秀喜



昨年4月から短期留学を担当することになりました比嘉秀喜と申します。短期留学は学生交流協定に基づいて、1年以内の短期間、学生を派遣・受け入れる制度で、私は主に留学生の受け入れ、修学、生活の事務的なサポートを担当しています。現在、16の協定校から24名を受け入れています。短期留学は全学的な協力体制のもとに運営されています。各学部には授業科目の提供、学生指導、在籍管理等で大変お世話になっており、この場をお借りして感謝申し上げます、今後ともよろしく願い申し上げます。

#### 専門職員 大城 和子

私は平成14年4月から留学生課に勤務しています。主として国費留学生関係、チューター関係、日本留学試験関係事務を担当しています。

国費留学生は特別コース留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生、その他の大学院生・学部学生に分けられ、本学においては31カ国92名の留学生が学んでいます。彼等の沖縄における留学生活が有意義なものになるように微力ながら頑張っています。どうぞ今後ともよろしく願いします。



最後に、私は窓口を訪れる留学生から彼等の出身国の話を聞くのが好きです。カウンターにおいてある地球儀を見ながら想像をたくましくして聞いています。

留学生課は、地域国際学習センター1階にあります。留学生の皆さん！聞きたいこと、わからないことなどがあったら、いつでも留学生課のカウンターまで気楽にいらしてください。日本語ができなくても、英語が話せる職員がいますから、だいじょうぶです。



1階には、この他に、センター長室、教室、スタディールームがあります。2階には、留学生センターの教官室、非常勤の先生方の控室があります。CAIとLLの部屋も2階です。

## スタッフ紹介

### 留学生センター

2003年3月現在

職名	氏名	担当コース・プログラム	注意事項
センター長、教授	比嘉 辰雄 ひが たつお		
教授	金城 尚美 きんじょう なおみ	日本語・日本事情 学部留学生の日本語専門科目 理工学研究科特別コース日本語クラス 院生・研究生のための日本語講座 生活日本語	春・秋学期
	原勢 二郎 はらせ じろう	短期プログラム 学習・進学相談（理工系学生）	
助教授	石原 嘉人 いしはら よしひと	短期プログラム（日本語科目）	
	佐々木 香代子 ささき かよこ	生活日本語 学習・進学相談 留学生交流事業（地域との交流）	春・秋学期 産休
講師	金城 かおり きんじょう かおり	短期プログラム（交流コーディネート） 生活相談	
	渋川 晶 しぶかわ あき	研修コース 日韓共同理工系学部留学生事業 院生・研究生のための日本語講座	春学期 産休
	副島 健作 そまじま けんさく	学部の日本語・日本事情 大学院進学前予備教育 院生・研究生のための日本語講座 生活日本語	春学期 春学期 春・秋学期

### 留学生課

2003年3月現在

係	職名	氏名	仕事の内容
	課長	村瀬 隆彦 むらせ たかひこ	総括
留学生センター係	係長	野原 繁雄 のほら しげお	留学生センターの事務 日本語研修コース 日本語・日本事情の授業 院生・研究生のための日本語講座
	事務補佐員	下茂門 みな子 しもじょう みなこ	
留学生企画係	係長	仲本 盛浩 なかもと もりひろ	国際交流会館 生活日本語 地域との交流、国際交流の総括 広報
	留学生企画係	大城 綾子 おおしろ あやこ	
	事務補佐員	新里 陽子 しんざと ようこ	
短期留学係	係長	比嘉 秀喜 ひが しゅうき	短期留学の受け入れ 短期留学プログラム
	専門職員	伊佐 眞一 いさ しんいち	短期留学の派遣 奨学金およびその証明書発行 医療費の補助 アルバイトの申請
	専門職員	大城 和子 おおしろ かずこ	国費留学生 外国政府派遣留学生 県費留学生 チューター

## 2003年春学期開講予定の日本語科目



### 日本語・日本事情

大学教育センターで提供している「共通教育科目」の日本語・日本事情です。全て単位の出る科目です。

対象：科目等履修生、特別聴講生、学部生（日本人は除く）

スケジュール：4月11日（金）～8月7日（木）

日本語のレベル：日本語（初級）、日本語（中級）、日本語（上級）

その他、日本事情（沖縄事情）、日本事情

問い合わせ：金城尚美 (knao@ll.u-ryukyu.ac.jp)、副島健作 (kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp)

金城克哉 (法文学部 kinkats@ll.u-ryukyu.ac.jp)

### 日本語専門科目

法文学部で提供している日本語専門科目（日本語・国際事情履修コース）です。全て単位が出ます。

対象：科目等履修生、特別聴講生、学部生（日本人は除く）

スケジュール：4月11日（金）～8月7日（木）

日本語のレベル：上級（日本語作品購読 II、日本語文章表現 II、日本文化 II、基礎演習 II）

問い合わせ：金城尚美 (knao@ll.u-ryukyu.ac.jp)、

金城克哉 (法文学部 kinkats@ll.u-ryukyu.ac.jp)

### 日本語研修コース（大学院進学前予備教育）

主にコース修了後に大学院で専門の研究を行う国費留学生、および教員研修生を対象とした1学期間の集中コースですが、定員に余裕がある時は私費の留学生も受講できます。単位は出ません。

対象：国費の研究留学生、教員研修生等

スケジュール：4月 日（ ）～8月 日（ ）

日本語のレベル：初級

授業時間：月曜日～金曜日の1時限目～4時限目

問い合わせ：副島健作 (kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp)

### 短期プログラム

主に短期プログラムの学生のための日本語クラスです。単位が出ます。

対象：短期プログラムの留学生

スケジュール：4月11日（金）～8月7日（木）

日本語のレベル：日本語（初級後半）、日本語（中級）

その他、初級から上級までのアラカルト科目があります。

問い合わせ：石原嘉人 (y-ishi@lab.u-ryukyu.ac.jp)

### **大学院生・研究生のための日本語講座**

大学院生・研究生のための日本語クラスです。単位は出ません。

対象：大学院生、研究生等

スケジュール：4月 日（ ）8 日（ ）の予定

日本語のレベル：初級～中級

問い合わせ：金城尚美 (knao@11.u-ryukyu.ac.jp) , 副島健作 (kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp)

### **日研生特別クラス**

日本語・日本文化研修留学生のためのクラスです。単位は出ません。

対象：日本語・日本文化研修留学生

スケジュール：4月 日（ ）～8月 日（ ）の予定

日本語のレベル：上級

### **生活日本語**

主に留学生の家族（成人のみ）のためのクラスです。国際交流会館で授業を行います。

対象：留学生の家族（但し、成人のみ）

スケジュール：5月 日（ ）～7月 日（ ）計20回

日本語のレベル：入門

問い合わせ：金城尚美 (knao@11.u-ryukyu.ac.jp) , 副島健作 (kensaku@lab.u-ryukyu.ac.jp)

## **2003年度の行事予定**

4月 新入生オリエンテーション、チューターオリエンテーション、新入生健康診断

5月 体育祭

6月 留学生と、地域の代表者および教職員との交流会

7月 留学生まつり

(8月上旬～9月末 夏休み)

10月 新入生オリエンテーション、チューターオリエンテーション

11月 沖縄地域留学生交流推進協議会主催の親善交流会、琉大祭

12月 留学生研修旅行

(12月下旬～1月初め 冬休み)

2月 日本語スピーチ大会

(2月下旬～3月末 春休み)

## 相談室のご案内

センターでは、学習や日常生活について困っている方、健康面・精神面で悩んでいる方のために、相談時間を設けています。一人で悩みを抱えていないで、気軽に話に来てください。

カウンセリング	マキシム・ランドル	留学生相談室 (国際交流会館内)	火曜日 15:00～ 18:30 金曜日 15:00～ 18:30	(098)8951157 (電話予約・電話での相談) [時間外、週末、緊急の場合： (098)877-7529
学習・進学相談	留学生センター 原勢(はらせ)二郎	留学生センター 2階205-2	火曜日 16:00～ 18:00	(098)895-8094 harase@lab.u-ryukyu.ac.jp
生活相談	留学生センター 金城(きんじょう)かおり	留学生センター 2階205-1	月曜日 15:00～ 17:00 火曜日 15:00～ 17:00	(098)895-8116 kaori@lab.u-ryukyu.ac.jp

◆ 上記以外の時間及び事務的な相談は、下記にでも受けつけます。

学生部留学生課 (事務局1階) (098)895-8131

※なお、理学部には、留学生担当の教官が1名います。

理学部 杉山卓也 理学部複合棟708 (098)895-8573 sugiyama@sci.u-ryukyu.ac.jp

## 2002年度行事レポート

### 留学生と、地域の代表者および教職員との交流会

6月7日(金) 18:00～20:30 於大学会館



6月7日(金)夕方、留学生と、地域の方々および琉大教職員とのパーティーがありました。留学生による琉舞や歌、八重山芸能研究会のゲスト出演もあり、パーティーは大いに盛り上がりました。





## 留学生センターからのお知らせ

### 2002年4月から、CAI教室の開放が週3回になりました！！

開放時間：月、水、木曜日 16：30～18：30

みなさん、ぜひご利用ください。

### スタディ・ルームができました！

日本語の教科書の他、海外留学関係の本もあります。自習だけでなく、チューターとの学習や授業の合間の一休みなどにご利用ください。

開放時間：月～金曜日 9：00～17：00



### 私の一言

今回は、留学生を引き受けている指導教官からの一言です。

工学部電気電子工学科

助教授 陳 延偉

2月末に留学生センターの佐々木先生から今度「留学生センター・ニュース」を発行するので何か一言を書いてくれませんか、との依頼を受けましたが、丁度産官学共同研究補助金のヒアリングなどがその時期にあったため、今回の第2号に持ち越しとなりました。なにを書けばいいのかよくわかりませんので、普段思っていたことをそのまま書かせていただきます。

日本政府の「留学生受け入れ10万人計画」により、大学における留学生の数が大幅に増えてきました。目的意識をもって留学にくる学生がいれば、特別な目的意識を持たずに留学にくる学生もいると思います。皆さんには「楽しい留学生生活をおくってください」と言いたいところですが、やはり一教官として勉強と研究の勧めをしたいと思います。

日本では留学生が国際交流のシンボルのようなもので、ときにはお客様として扱われる場合もあります。しかし、近年情報化社会が急速に普及し、国際社会はますますボーダーレスの度合いが高まってきています。企業間や国家間の国際競争も激しくなっています。21世紀は人材競争の世紀とも言われています。米国は元々優秀な外国人人材を活用してきたが、近年ヨーロッパの国や日本でも国籍問わず、優秀な人材を採用するようになって来ています。最近話題になっている大学院大学もその一環だと思われます。

留学生の皆さんはほとんど自国ではエリートだと思います。中国では留学のことを「渡金」と言う人もいます。留学するだけで金の箔がつき、出世していくと言う意味です。しかし上述のようにこれから世界のどこでも厳しい競争になるでしょう。留学したから、いい仕事や出世などが保証されるわけではありま

せん。留学はあくまで一種のキャリアでしかありません。厳しい競争に打ち勝つためにはやはり実力と業績が必要です。是非留学という貴重な時間を無駄にせず、「金の箔」というより世界で活躍できる実力と業績を身につけていただきたいと思います。

最後に国際交流会館の入居問題について大学側への一言を述べさせていただきます。現在国際交流会館には国費留学生が優先的に入居できるようになっています。部屋の数が非常に限られているので私費留学生はほとんど入居できない状況です。国費留学生を優先しなければならない理由はよくわかりませんが、日本政府が招聘した学生なので優先したと言う話をどこかで聞いた覚えがあります。これから国立大学も独立法人化になる方向で、授業料を払ってくれる私費留学生をいかに獲得するかが重要な課題です。そのための環境整備をしなければなりません。その一つとして、私費留学生にも国費留学生と同じような入居機会をあたえるべきだと考えています。

#### 留学生センター・ニュース

発行：琉球大学留学生センター

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

TEL: 098-895-8113

発行日：2003年3月